

情緒障害児短期治療施設

さくらの森学園

だより



平成 29 年 1 月

Vol.10

発行：さくらの森学園



新年 あけましておめでとうございます。



昨年も皆様には大変お世話になりました。



日本人にとってお正月は特別なもの。

さくらの森学園では年末に子ども達と職員で餅つきをし、門松を作ってお正月を迎えます。

子ども達にとって冬休みは「クリスマス」「お正月」と楽しみがたくさん詰まった、待ち遠しいお休みです。しかし、そんな特別な日を、家族と過ごせない子どもが年々増えてきました。

今年は 18 人の入所児童のうち 9 人がさくらの森で新年を迎えています。

施設入所の理由は様々ですが、虐待を受けたことで入所に至った子どもの増加と共に、こうして特別な日にも家族と過ごせない子どもが増えています。

子どもにとっては、かけがえのない、たった一人の親、逢いたい、一緒に暮らしたいと願う気持ちと、受けた心の傷に、素直に逢いたいと言えない気持ちがせめぎ合います。

親にとっても我が子が可愛くないわけではなく、自分の生き立ちに苦しんだり、発達の偏りを理解出来ず、気持ちがすれ違った挙句に、施設に預けざるを得なくなったことに対して、どう自分自身に折り合いをつけて良いのかと揺れることがあります。

さくらの森学園では、子ども達の困った行動に対して、「どうしたの？何があったの？」と行動の背景に思いを寄せます。必ず、そうしてしまった理由があります。そして一緒に「どうすれば良かったのか」考えます。次に「どうすれば同じ事を繰り返さないか」練習します。

子どももその保護者も、共感してくれる、手を差し伸べてくれる人が近くにいたら、地域で家庭で暮していけたかもしれません。

環境を整えること、医療に繋げること、繋がれる親族や地域の支援者を見つけること。また、親子の再統合が出来なくても、子どもにとって安心できる親子の距離を提案する等、私達のやるべきことはたくさんあります。

まだまだ力不足ですが、新しい年を迎え、職員一同力を合わせ、縁あってさくらの森学園にやってきた子ども達と、その保護者の心に寄り添いながら、「さくらの森学園に来て良かった」と思ってもらえるような支援をしていきたいと思ひます。

2017 年、世界中の子ども達が希望を持ち、自由で安心と安全が守られる年となりますように。

施設長 中村 久美



秋祭り（10月8日）

心配していた雨が直前に上がり、秋まつりを無事に開催することができました。

分教室で毎日練習した合奏やダンスはとても上手で、職員は子ども達の頑張りに涙がでそうでした。

う～みさんも駆けつけてくださり、子ども達と「さくらの森学園歌」を歌い、1人でキーボードの演奏を発表したいという女兒のサポートをしてくださいました。

頑張ったあとは、子ども達が楽しみにしていた出店の時間です。

焼きそばにからあげ、ポテトに枝豆、ロールケーキとお腹いっぱい食べ、ファイティングドッグスさんのストラックアウトに挑戦。景品をもらい大喜びでした。

バザーコーナー、子ども達の手作り品の販売等大盛況でした。

今年は4人の高知県立大学の学生さんがボランティアとして参加してくれました。

ご協力してくださったみなさん、本当にありがとうございました。



防犯訓練

11月22日に佐川警察署の方に来ていただき、生活棟で職員14名が参加し、防犯訓練を行いました。不審者対応、侵入者対応の研修では、DVDを見ながらポイントを説明していただき、対応の仕方をより具体的に研修することができました。

また、警察署の方から大切なこととして①捕まえようとしないこと②警察が来るまで時間をかけること、侵入者に対しては、さすまたの他に消火器を使うことが有効であるというお話もありました。

いざという時には、冷静に対応し大切な子ども達を守ることができるように、これからも研修・訓練を重ねていきたいと思えます。



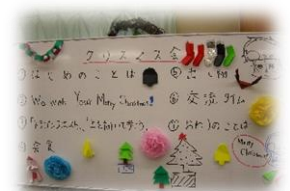
分教室クリスマス会

12月20日、分教室でクリスマス会が行われました。

事前に子ども達からのかわいい招待状が届いていたので、園の職員も参加させてもらいました。

歌や合奏、劇にダンスと、みんなが上手に披露してくれました。今までは人前に出るのが苦手な子もいましたが、全員が参加することができ、子ども達の成長を感じ、涙を流す職員もいたほどでした。

交流タイムでは、子ども達の手作りのクリスマスケーキ（写真）をごちそうになりました。とてもおいしかったです。ごちそうさま（*_^*）



華棟

10月の秋晴れの日、越知町にある宮の前公園のコスモス祭りに行きました。昼食は屋台がたくさん出ていたため、それぞれ好きなものを選んで食べました。まだまだ暑さも残っていたため、かき氷をみんなでおいしくいただきました！

今日のメイン！！のコスモスはといえば... 小さなつぼみや、緑の中に所々ピンクの花が咲いており、コスモス祭りというほど咲ききってはいなかったものの、健気に咲くその姿にほっこり癒されました。たくさんのイベントも行われており、自分たちが知っているアーティストが出たときには、子どもたちの興奮した様子がうかがえました。コスモスを見て楽しかったのは、子どもたちよりも職員だったかもしれません…(=^・^=)



樹棟

★HAPPY HALLOWEEN★

今年は、仮装に挑戦しました！

かぼちゃマン、海賊、骸骨、ドラキュラ・・・

始めは、「恥ずかしい」と言っていた子どもたちも全員が着替え終る頃にはノリノリです。

色画用紙で作ったかぼちゃのカバンを持って、「Trick or Treat」と言いながらお菓子を沢山もらいに行きました。

夜ごはんは、かぼちゃを丸々1個使ったグラタンに大興奮。

フタのハズのかぼちゃのお顔にまでガブリ！！

かぼちゃが本当のお化けかぼちゃになりました。



杜棟・お月見

杜棟で、お月見会用のお団子をつくりました。

「月見団子」は、お月様を見ながら風流に秋を味わいつくしむもの・・・。でも、もちろん杜棟の子ども達に夜までの『待った！』

は通用せず、せめて一緒にお団子作りだけでも・・・と思ったのですが、「え～、忙しいもん」と相手にされず、職員二人でせっせとお団子作り。

あんことみたらしを作ろうと張り切っていたのですが、「みたらしはいいから、あんこだけにしよう！」という子ども達の意見を尊重し、あん団子を作りました。

でも、「おいしい」「ありがとう」の声に、すごく癒されたお月見会（?!）でした。（笑）





ご支援ありがとうございました

アネックス 麻岡真理 伊藤乃 石黒雄一 井上和江 井上幸 大島明子 北村鮮魚店 果樹園さかもと
河内康文 片岡牧子 加藤由依 桂木明夫 木原恵美子 工藤末信 国際707 糝トよさこい高知 西梅幸治
東元町1班 (株)ユアティ・萩野昭子 白石慈恵 志手清晴 須田久美 (株)ニテジ 外インタータイムト・サービス・福田淳
徳永和香 高石理佐 高石千香 谷香織 鳥谷悦子 中田武治 西川清水 西森昭仁 西森遼子 西森多津子
濱田博子 林伸一 秀駒食肉 平岡護 美容室ピリ吉花・岡崎由也里 広田理容店 藤原ゆい ポピーフロ
ーリスト 三木寛伸 村田恵美子 村田正浩 真辺とも MOA・位田誠生 吉村裕司 山崎食品 山本志穂美
敬称略順不同 平成28年10月～

《ご協力ください》

昨年はバザー物品の提供を始め、たくさんのご協力ありがとうございました。
昨年、扇風機が毎年壊れて足りないと、寄付を呼びかけたところ、送り主の記載のない5台の扇
風機がアマゾンから届き、どこの伊達直人さんだろうと喜んだり首を傾げたりしました。
(後日、園長の知人と判明)
バザーの売り上げ・寄付金は、子ども達の外出、壁紙の張り替え、寝具、除湿機、元旦の寿司等の
購入に使わせていただきました。

未使用の年賀状や書き損じのはがき、切手、図書券、テレフォンカード、金券等は直接子ども達
の生活に役立てています。
「〇〇があるけれど必要ですか？」という場合はメール・電話でお問い合わせください。

今年はPCの入れ替え、記録ソフト・子ども達が自由に使えるiPadの導入、洗濯機、衣類乾燥機、
児童の増加に伴い寝具等の購入を予定しており資金不足です。
さくらの森学園への寄付金は確定申告時に寄付金控除対象となりますので、どうぞよろしくお願
い申し上げます。

《募集しています》

- 家庭体験事業として週末や長期休みに帰省できない子どもを自宅に招いてくださる方
 - 学習・遊び・IT関係・環境整備のボランティア
- 詳しくはメール・電話でお問い合わせください。(担当：中村)



〒789-1201

高知県高岡郡佐川町甲 1115-3

社会福祉法人 同朋会 情緒障害児短期治療施設 さくらの森学園

Tel 0889-22-4333 Fax 0889-22-4332

<http://www.douhoukai.or.jp>

sakuranomori@douhoukai.or.jp

